

「JAバンク茨城子ども食堂応援成2023」活動報告書

活動名	食を通じた地域みんなの交流の場 INDIGO.キッチン
団体名	INDIGO.キッチン
この活動で 取り組んだ 地域の課題 や背景（※）	地域の繋がりが希薄化していることを解決するために、単発で行われるような事業ではなく、継続的に交流できるような場がなかった。
この活動の 目的（※）	地域の方誰でも食を通じて交流する場づくり コミュニティプレイス INDIGO.は相談できたり交流の場になっているということを知ってもらう。
活動の対象 （※）	多世代の地域住民
実施内容	4月：4/27（土）実施 参加者数 44 人 5月：5/18（土）実施 参加者数 75 人 6月：6/22（土）実施 参加者数 62 人 7月：7/13（土）実施 参加者数 57 人 8月：8/24（土）実施 参加者数 61 人 9月：9/28（土）実施 参加者数 67 人 10月：10/26（土）実施 参加者数 43 人 11月：11/16（土）実施 参加者数 49 人 12月：12/21（土）実施 参加者数 60 人 70代のボランティア8名と、2024年3月まで学校給食の栄養士だった40代の方がボランティアとして活動している。 毎回ボランティアがメニューを決めていて、多種なおかずで彩り豊かで、おいしさはもちろん、見た目にもたのしいプレートになっている。 JA 常総ひかり様より 5000 円分の食材の提供をいただいたり、地元の農家さんや家庭菜園をしている方からもたくさんの野菜のおすそわけをいただくこともおおく、たくさんの方々がかかわって下さる。
活動実施後の 成果	開始当初は、ボランティアの方々の身内、知り合いの方の参加が多かったが、回を重ねるにつれて、子育て中のママがお子さんを連れて参加してくれたり、また、近くで実施している、子連れスタイル推進協会の生活困窮者の学習支援の方々・そこに参加している子どもたちとも繋がり、さらに（株）カスミのフードバンクとも繋がったりと、社会課題の解決の一助に INDIGO.キッチンが関わらせていただけるようになった。 また、関心が拡がり食材の提供、ボランティアやりたいという高齢者の意欲向上、多世

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

	代・多職種交流の場にもなってきた。特に、INDIGO.の生ごみをコンポートで堆肥しつ かった農園でできた梨を安価でご提供いただき、INDIGO.キッチンのメニューに加え、 子どもたちが地元を知る機会にも繋がった。また、INDIGO.キッチンに来てくれたママ が親の介護の相談につながるケースなどにも繋がっている。
今後の展望 や新たに 見えてきた 地域課題	子どもやその親が地域の多世代と繋がる場所を作っていきたいという想いで始まっ てみたが、実は、高齢者、障害者など別のカテゴリの方々の方がそのような場を求めて いるように感じている。最近では、聾者と手話サークルの方々が通ってくださり、子ど も食堂で、手話での会話が当たり前の光景になっている。そのような環境が子どもたち が多く集まる、子ども食堂という場でつくることが大変うれしく思っている。恐らく、 八千代町内に人が集まり繋がる場が少ないのだと思う。
寄付者への 一言（※）	一念発起で立ち上げスタートを切って、ここまで続けてこられたのは、ご寄付で食材購 入はもちろん、準備に必要な備品をそろえることができたことが非常に大きいです。本 当にありがとうございます。特に、たくさんのプレートを購入できたおかげで毎回、カ フェに引けをとらないくらいきれいなプレートができ、なにより紙皿など購入する より、長い目で見たときには、かなりの経費削減になります。みなさまのご寄付が、子 どもたちの笑顔、親子の時間、多世代の交流、生活困窮者への支援など社会課題の解決 につながっています。これからも地域の居場所づくりを続けていきたいと思っています。 ありがとうございました。
自己評価 （いずれかに ○を記入）	A. 目標を超える成果を得ることができた B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他（ ）
自己評価で C を記入された 場合、その理由	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で 2 ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。